

別表（第４の５の別記様式第10－４号関係）

水産業競争力強化緊急施設整備事業事後評価報告書

		作成部署名： 富山県農林水産部水産漁港課				
目的	地区外漁業者も利用可能な、適正規模かつ必要な機器を備えた高度衛生管理型荷さばき施設を全部改築により整備し、産地市場で取引される全ての漁獲物を一貫した衛生管理基準で取り扱い、地域全体の漁獲物の付加価値向上、漁業者の作業負担の軽減、施設維持管理費の軽減を図る。					
目標	・荷捌き作業の高度衛生管理 ・漁業者の作業負担の軽減 ・施設維持管理費の削減			整理番号：04 富山－２		
事業実施主体	魚津漁業協同組合					
実施地区	魚津地区					
実施期間及び目標年度	実施期間	目標年度				
	令和４年度～令和６年度	令和７年度				
助成金額	125,000,000 円					
事業計画の内容	鉄骨平屋建て荷さばき施設（のべ床面積 425 ㎡）殺菌冷海水装置付きの整備、既存施設の撤去					
評価	取組の目標（KPI）	漁業所得の向上				
		基準年	（令和３年度時点） ●●千円			
		現状値	（令和７年度末時点） ●●千円	増加率	5.8%	
		目標値	（令和８年度末） ●●千円	増加率	10%	
	成果目標	漁業者の１人あたりの荷さばき（鮮度保持）準備に係る年間作業時間を短縮				
		現状値	（令和７年度末時点） 6.4 時間/年/人			
		目標値	（令和７年度末） 6 時間/年/人			
	（１）現状値の説明	KPI の現状値は、漁業種類毎に漁業収入及び経費を把握し（漁協調べ）、総収入から総支出を減して得た漁業所得を漁業者数で除して一人当たり漁業所得を算出した。全体として魚価が向上し、基準年より漁業所得は増加しているものの、漁獲量の減少もあり目標達成には至らなかった。 成果目標の現状値は、整備後施設を利用する漁業者の削減対象の作業時間（荷さばき準備・待機時間）を、作業人数に作業時間・操業回数を乗じて年間総作業時間を算出し、それを作業人数で除すことにより一人当たり年間作業時間を算出した。施設整備により計画どおり作業時間は削減されたが、操業回数の増加により総作業時間は計画想定より増加した。一方、利用者の増により作業人数も増加したため、結果として１人あたりの作業時間の成果目標は達成した。				
	（２）地域への経済効果	整備施設による荷さばき準備作業時間の短縮や、冷海水利用による漁獲物の鮮度保持が容易となったことにより、地域外漁業者の利用が増加し、産地市場の活性化につながった。また、適切な荷捌きによる品質保持により、シイラ等の鮮度落ちの速い魚種も輸出が行われるようになった。				
	（３）所見	本施設整備により漁業者の作業軽労化が図られ、利用者数の増や作業回数が増はあったものの、全体での作業時間は削減され、成果目標を達成した。また、利用者は殺菌冷海水等を用いた鮮度保持に努めており、付加価値向上に繋がっている。よって、本施設の整備は適正であった。				
	（４）評価機関の意見等	（評価機関等の評価を受けた場合に記入）				
	今後の改善方向等に関する分析	整備施設は適正に利用されており、当初計画どおりの成果が見られている。漁協は、利用者の増による待ち時間の発生が無いように適宜調整を行い、引き続き効率的な利用による利用率の維持を図る必要がある。				